

《目 次》

FPD International 視察・・・1～2 p
自動車関連展示会・セミナー報告・・・3 p
燃料電池の基礎・開発動向・・・4 p
自動車用材料の動向・・・5 p

多孔質基板ミリ波アンテナと ITS・・・6 p
ITS と無線通信利用技術の動向・・・7～8 p
SEMICON Japan 視察・・・9 p
蠟梅 Now・・・10 p

FPD International 2005 視察

2005年10月19日～21日、パシフィコ横浜において FPD International 2005 が開催された。日経 BP 社主催、SEMI 共催で、今回が 12 回目の開催となる。出展社数は 304 社(団体)、3 日間の来場者数は展示会と併設フォーラム合わせて 69,098 名と、非常に盛況であった。

液晶ディスプレイ(LCD)とプラズマディスプレイ(PDP)の市場での激しい競争がそのまま展示会場に持ち込まれたような熱気であった。LCD の高速応答化、PDP の低消費電力化が進み、60 インチクラス以上の大型ディスプレイでも、画質、消費電力競争が激化している。国内での LCD 対 PDP 戦争と対照的に、SAMSUNG 等の韓国勢の LCD、PDP に有機 EL も含んだ全方位戦略が目をつけた。

一方、動向が注目されるキャノン、東芝による表面電界放出ディスプレイ(SED)の展示は見られなかった。



展示会会場風景



PDP と LCD の消費電力比較



SAMSUNG の 有機 EL ディスプレイ

LCD のバックライトに LED や有機・無機 EL を用いて消費電力を低減する試みや、医療用ディスプレイなど超高階調化の試みも本格化してきた。

電子ペーパーでも E Ink 社を筆頭にフレキシブルディスプレイとしての応用イメージの展示が目立った。

次回の FPD International 2006 も、2006 年 10 月 18 日から 20 日まで同じ会場で開催される予定である。



E Ink 社の電子ペーパー

神鋼リサーチ(株) 大西良彦